

2020(令和2)年度

昭和文学会 秋季大会

本会はコロナウィルス感染拡大の影響によりオンライン開催となります

*オンライン学会は「Zoomウェビナー」にて行います。参加には事前予約が必要です。

*詳細は10月31日頃に昭和文学会HP (<http://swbg.org/wp/>)にてお知らせします。

会員外の方の参加も
歓迎します
詳細は左記HPにて

日時: 11月7日(土) 午後1時より

いま〈古典〉を考える
戦後文学文化における〈古典〉とは何か

開会の辞

大阪樟蔭女子大学国文学科長 田原 広史

田辺聖子文学館のご案内

大阪樟蔭女子大学教授 黒田 大河

【研究発表・シンポジウム】

大衆化のなかの国文学／国文学界

—— 戦前・戦後の連続性から考える ——

衣笠 正晃 (法政大学)

みかわり かわりみ
分身と変身

—— 谷崎潤一郎訳「源氏物語」と小説「夢の浮橋」 ——

西野 厚志 (京都精華大学)

少女文化のなかの古典

竹田 志保 (学習院大学他非常勤)

田辺聖子『新源氏物語』における光源氏の恋と七夕

—— 宝塚歌劇化を回路にして ——

勝亦 志織 (中京大学)

閉会の辞

代表幹事 大橋 毅彦

司会 大石 紗都子・佐藤 淳一

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学理学部三号館204 TEL 03-5976-1478

昭和文学会事務局(お茶の水学術事業会内) URL: <http://swbg.org>